

# 三角形の外心

三角形  $OAB$  において、 $OA = 4$ 、 $OB = 5$ 、 $AB = 6$  である。また、 $\vec{OA} = \vec{a}$ 、 $\vec{OB} = \vec{b}$  とおく。

- (1) 内積  $\vec{a} \cdot \vec{b}$  を求めよ。  
 (2) 三角形  $OAB$  の外心を  $Q$  とおくととき、 $\vec{OQ}$  を  $\vec{a}$  と  $\vec{b}$  で表せ。

(早稲田大\*)

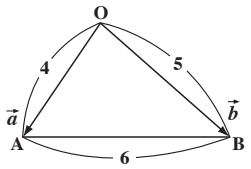
**ヒント!** (1)  $AB = |\vec{b} - \vec{a}| = 6$  から、内積  $\vec{a} \cdot \vec{b}$  を求めればよい。(2) では、まず、 $\vec{OQ} = s\vec{a} + t\vec{b}$  において、 $s$  と  $t$  の値を求めよう。その際、外心  $Q$  が、 $\triangle OAB$  の各辺の垂直二等分線の交点であることを利用するといよい。

## 解答&解説

- (1)  $\triangle OAB$  について、 $OA = 4$ 、 $OB = 5$ 、 $AB = 6$  より、  
 $\vec{OA} = \vec{a}$ 、 $\vec{OB} = \vec{b}$  とおくと、  
 $OA = |\vec{a}| = 4$  ……①、 $OB = |\vec{b}| = 5$  ……②  
 また、 $AB = |\vec{AB}| = |\vec{b} - \vec{a}| = 6$  ……③ より、  
 $|\vec{b} - \vec{a}| = 6$  ……③ の両辺を 2 乗して、  
 $|\vec{b} - \vec{a}|^2 = 36$   
 $|\vec{b}|^2 - 2\vec{a} \cdot \vec{b} + |\vec{a}|^2 = 36$   
 $(5^2 \text{ (②より)}) \quad (4^2 \text{ (①より)})$   
 $25 - 2\vec{a} \cdot \vec{b} + 16 = 36 \quad 2\vec{a} \cdot \vec{b} = 5$   
 $\therefore \vec{a} \cdot \vec{b} = \frac{5}{2}$  ……④ である。……………(答)

- (2)  $\triangle OAB$  の外心  $Q$  について、  
 $\vec{OQ} = s\vec{a} + t\vec{b}$  ……⑤ とおく。  
 また、右図に示すように、辺  $OA$  の中点を  $M$ 、  
 辺  $OB$  の中点を  $N$  とおくと、外心  $Q$  は、各辺  
 の垂直二等分線の交点であるので、  
 (i)  $\vec{MQ} \perp \vec{a}$  かつ (ii)  $\vec{NQ} \perp \vec{b}$  となる。

## ココがポイント



$\Leftrightarrow (b-a)^2 = 36$   
 $b^2 - 2ab + a^2 = 36$   
 と同様に、  
 $|\vec{b} - \vec{a}|^2 = 36$  の左辺は  
 展開できる。

